

みょうじょうのことごと

第十集
明星神社社務所

弥生三月も、早やお彼岸の時期となりました。いつもですと、ほのかに春の訪れを感じる時期なのですが、今年は少し様子が違いますね。東北や北海道ではいまだに大雪ですし、明和町では大雪こそ降りませんが、それでも時折小雪がちらつきますし、いつまでも吹き荒れる北風もその冷たさが例年以上に感じられます。

そうはいつても、ウメも開花が2週間くらい遅れましたが、しっかり咲いてくれました。そして、名古屋のサクラの開花予想は27日、一週間後です。今年の春は、いつもより忍び足ですが、それでもすぐそこまで来ているようです。

【令和七年 節分祭を、つつがなく齋行いたしました】

明星神社では、昨年より節分祭を齋行しています。

今まで、明星神社の祭礼は、春季大祭・秋季例祭・新嘗祭（にいなめさい）・新年祭の年4回でしたが、何か足りない気がしていたんです。だって、新年をお迎えたしたら、次に来るのは節分じゃないですか。これは、ニッポンの常識です。

ここは、いっちょ派手に福豆を撒いて、『福は内！ 鬼は外！』と大声で呼びわりながら春の到来を祝ったら、神さまにもそして氏子の方々にも喜んでいただけるんじゃないかというのが、節分祭を始めた理由でした。

でも正直なところ、どれだけの方が参拝にお出でくださるのが不安でした。昨年参拝いただいたのは、20名くらいの方でした。

もちろん、それだけの方々にご参拝いただけたのはとても有難いことですし、十分な告知も出来ていなかったことを考えると、予想を超えた参拝者数なのですが、人間は欲が深いもので、昨年の実績を超えたいと俗人は考えてしまうのです。

そこで、今年はA3サイズのポスターを作り、町内各自治会の掲示板に貼っていただきました。デザインは目立ちたい精神にもとづき、かなり派手目にしました。紅白が基調のおめでたい感じで、いい仕上がりとなりました。

また、昨年同様福豆も総代が煎り、お手製の袋に詰めて、70袋を用意しました。

正直、これだけの福豆が捌けるだけのお客さまがいらっしやれば、主催者としてはうれし涙にくれるのですが。

そして、もう一つの、そして最大の心配事はお天気！

祭礼当日の天気予報は雨、しかも大荒れの予報だったのです。

しかしお天気だけは、人智を超えた それこそ神のみぞ知る世界なので、関係者一同不安を胸に抱えながら、神社の神前で柏手を打ち、祭礼当日の好天を祈ることしか出来ませんでした。



祭礼当日の2月2日（日）、気になって早起きした朝の天気は、無常にも雨。。。しかも結構な降り方だったので、「これは、参拝される方はほとんど無いな」とがっかりしたのでした。

ところが8時頃には小雨になって、これは「もしかしたら」と希望を持てる状態に！そしてなんと、9時の時点では雨はほとんど止んだのです！！



「ほら、大丈夫と言っただろ。僕が宮司になってから、祭礼で雨が降ったのは片手くらいの回数なんだよ」と、究極の晴れ男である下村宮司は得意満面でした。

そして、雨が弱まるにつれて、参道の砂利を踏む音も多くなり、思いもよらず大勢の方がお参りに来てくださったのでした。



祭祀は午前10時より開始しました。最初の下村宮司によるお祓い、続いて祝詞奏上、参列者代表による玉串奉奠と 祭祀は粛々と進みます。そして、参列者の微笑みを誘ったのが、お子さんによる玉串奉奠でした。おそらく、生まれて初めての玉串奉奠だったでしょうが、皆さんしっかりと上手に玉串を神前にお供えしていました。

最後に、下村宮司が「福は内、福は内！」と呼ばわりながら福豆を撒き、令和7年の節分祭はつつがなく終了したのでした

【今後の行事予定】

4月からは新年度となり、神社の運営体制も少し変わります。そういった点は、次号の「みょうじょうのことごと」でお伝えします。

4月13日（日）は、春季大祭を斎行します。本格的な農作業の開始に当たり、今年一年の五穀豊穰と氏子の皆さまのご多幸を祈念する祭祀ですので、ぜひご参拝ください。

祭祀は午前10時より開始いたしますので、9時50分前後に拝殿前にご参集ください。

また、4月の御朱印授与は、4月13日（日）のみとなります。

この日は、春季大祭・第2日曜・満月のすべてが重なりますので、変則的な授与日になります。どうぞご注意ください。

以上

